

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和8年度朝霞市立朝霞第六小学校第2回学校運営協議会	
開催日時	令和8年5月23日（土）9時00分～9時50分	
開催場所	朝霞市立朝霞第六小学校2階校長室	
出席者の職・氏名	学校運営協議会委員7名 小島 孝之（校長） 前田 敏 金子 夕介 相澤 めぐみ 飯倉 康祐 小野 諒子 渡邊 聡 事務局3名 高木 智（教頭） 越後 広栄（教頭） 篠崎 宏 美（主幹教諭）	
欠席者の職・氏名	なし	
議題	1 学校の現状と今後の対策について 2 その他	
会議資料	・第2回学校運営協議会レジュメ ・学校と教師の業務の3分類（文部科学省よりの資料） ・学校公開一覧 ・第3回以降学校運営協議会の開催について	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 校長・教頭による確認	
傍聴者の数	1人	
その他の必要事項	特になし	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

☆ 委員長挨拶

○委員長

- ・学校運営協議会の活動が活発である。
- ・他校が本校の学校運営協議会を模倣したいとする流れもある。
- ・マンパワーの維持は課題。
- ・熟議をとおして、子供たちの学習を充実させたい。
- ・課題解決のための環境作りが大事である。

☆ 学校長挨拶

○校長

- ・約2か月過ぎて、登校渋りの児童が心配である。
- ・学校が子供たちにとっての第一の居場所になるよう、保護者と連携していきたい。

1 学校の現状と今後の対策について

○校長

- ・学校応援団、保護者の連携が素晴らしい。子供のための地域の学校になっている。
- ・新体力テストの練習、プール清掃にも参加していただいて有り難かった。
- ・学校応援団の力が大きく、本校の強みである。保護者の理解を得られる学校にしていきたい。
- ・教職員の働き方改革について、国が求めている数値目標は、時間外在校等時間が月に45時間を超えないこととしている。
- ・本校の現状で言うと、18時台で退勤できると45時間を超えない計算になる。
- ・教師のやりがいは、児童の伸びを実感できることである。したがって、数値だけで働き方改革が進んでいるかどうかを判断することは難しい。
- ・文部科学省資料より、「学校と教師の業務の3分類」が示されている。特に登下校、放課後の問題への対応に苦慮している。
- ・教員の働き方改革について、ぜひ学校運営協議会委員の皆様から忌憚のない御意見をいただきたい。

○教頭

- ・放課後、匿名で車への破損についてメールや電話でお叱りを受けたこともある。
- ・公園等で問題行動があった場合、職員が駆けつけて指導したこともあった。

○校長

- ・ケースバイケースで、保護者同士で解決してもらいたい案件もある。
- ・本校はどの学校よりも地域、企業等との結びつきが強い。探究学習にさらに取り組めるよう教員の働き方改革を推進していきたい。
- ・保護者、地域との連携を深めていき、子供たちを見守っていける環境作りをしていきたい。

○委員

- ・業務の線引きは当たり前である。
- ・ほとんどの保護者、地域の方は理解してくれると思う。
- ・働き方改革について、授業づくり、子供たちのために使う時間外在校等時間でなければ

ならない。

○委員

・放課後見守り、地域見守りの活動はしている。

○委員

・我が子以外の子供への注意、指導をどうすればよいか、難しい。
・特に地域の方は知らない子供に注意することは難しいのではないか。

○教頭

・学校に地域の方が積極的に来校してもらうことで、児童にも顔を覚えてもらえ、指導もしやすくなるのではないか。

○委員

・警察案件にしてもよいか、躊躇する方もいる。とりあえず、学校を窓口として対応してもらいたいとの思いをもっている方もいる。
・学校、市役所、警察で連携を考えるべき。

○委員

・基本は、校門の外のことについては、学校の管理下外になるので、保護者が対応すべきではないか。

○校長

・子供が帰宅しない場合、学校に連絡が来るともよくあるが、警察に対応してもらいたい希望もある。ただし、警察に捜索願を出すのは敷居が高いと感じる保護者も多いため、まずは学校に連絡が来るとも理解はできる。

○委員

・自転車保険の加入は学校で確認しているのか。

○教頭

・学校では確認していない。

○委員

・消防署や警察署にも苦情がある。
・消防署や警察署では、「それについてはこちらでは対応しかねる。」とシャットアウトすることも多々ある。

○校長

・本来、17時の退勤時刻で留守番電話にしたいが、なかなか連絡がつかない保護者もいるため、17時過ぎまで電話はつながるようにしている。

○委員

・保護者がどうしても子供のことで相談したい場合、どうすればよいか。

○校長

- ・勤務時間の中で、対応している。
- ・緊急案件については、勤務時間外でも丁寧に対応している。

○委員

- ・t e t o r uの個別対応を導入してもよいのではないか。

○校長

- ・トライアル期間で試してみて、よかったという声も職員からはあった。

○委員

- ・本来、市で予算を立ててもらいたい。

○委員

- ・中学校で導入している学校もあるが、小学校で導入すると、相談件数がかなり多くなり、教員がそちらの返信に時間を割かれるのではないか。

○校長

- ・いただいた御意見をもとに、校内で導入するかどうか検討していきたい。

2 その他

○教頭

- ・本日の土曜参観、ぜひ子供の様子を見てもらいたい。
- ・次回の第3回学校運営協議会は、職員も参加するので、地域、企業等の方々にも積極的に参加してもらいたい。(8月21日(金)13:15~)

○校長

- ・昨年度の反省を踏まえ、様々な対話ができるようなグルーピングを考えたい。
- ・第3回学校運営協議会について、8月21日(金)の学校公開日に行う予定である。